



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和4年8月9日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7851 URL <https://www.kc-s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 啓輔
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 糸川 克秀 TEL 06-6222-7474
 兼最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の業績（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	672	△7.3	56	△25.7	61	△19.4	74	0.2
4年3月期第1四半期	725	7.5	76	—	76	—	74	495.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	15.83	—
4年3月期第1四半期	15.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第1四半期	3,479	2,608	75.0
4年3月期	3,498	2,546	72.8

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 2,608百万円 4年3月期 2,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
5年3月期	—	—	—	—	—
5年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,250	△1.9	4	△92.3	9	△83.0	5	△91.7	1.06
通期	2,550	2.0	10	△77.8	20	△58.3	10	150.0	2.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期1Q	5,160,000株	4年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	5年3月期1Q	429,111株	4年3月期	429,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期1Q	4,730,889株	4年3月期1Q	4,730,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(会計方針の変更)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	6
(収益認識関係)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、資源価格上昇の影響などあるものの、基調としては持ち直していると思われましたが、再び新型コロナウイルス感染症拡大の傾向がみられることや、今後のウクライナ情勢の展開、資源価格や海外経済の動向など勘案すると引き続き厳しい状態にあります。

ビジネスフォーム業界におきましても、コロナ禍以降の電子化等による印刷需要の減少や資材の高騰などにより厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、営業部門において、ビジネスフォーム事業では既存案件の確保に努め、情報処理事業ではデータプリントサービス、電子請求書発行・受領サービス、情報通知帳票の電子配信サービス等の案件獲得をメインとした提案型営業の徹底や自社設備を活用した提案活動を重点的に展開するとともに、用紙、インク、副資材、人件費等の値上がり分の売価への反映に注力してまいりました。また、世の中全体がインフレ傾向にある中、適正価格、安定供給、品質維持を念頭においた購買活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は672百万円（前年同期は725百万円）となりました。経常利益は61百万円（前年同期は76百万円）、四半期純利益は74百万円（前年同期は74百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、得意先の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による営業自粛等の影響が続いており、売上高は前年同期と比べ53百万円減少し、372百万円（前年同期は425百万円）、セグメント利益は61百万円（前年同期は28百万円）となりました。

② 情報処理事業

総需要量の減少及び電子化の進行は続くものの、既存先や地方自治体等での新規案件獲得に幅広く活動したことから、売上高は前年同期と比べ微増し、300百万円（前年同期は299百万円）となりました。セグメント利益は70百万円（前年同期は122百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前事業年度末と比べ12百万円減少し、2,316百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が46百万円、「有価証券」が5百万円、「商品及び製品」が15百万円、「原材料及び貯蔵品」が9百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が10百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が89百万円減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ5百万円減少し、1,162百万円となりました。これは主に有形固定資産の「建物（純額）」が5百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ73百万円減少し、676百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「未払金」が17百万円増加し、「未払法人税等」が5百万円、「賞与引当金」が14百万円、「独占禁止法関連損失引当金」が37百万円、「その他」に含まれる「未払消費税等」が27百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ7百万円減少し、195百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が9百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ61百万円増加し、2,608百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が60百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績は、令和4年5月12日に開示した業績予想の利益を上回ることが出来ました。しかしながら当事業年度におきましては、大型の設備投資等を控えており、費用負担の増加が見込まれます。

また、現時点における売上高はほぼ計画通りに進んでおりますが、既に当第1四半期における原材料、燃料費等の高騰が影響してきており、今後も引き続くものと予想しております。

業績予想の変更が必要となった段階で改めて公表させていただきますので、現時点における修正はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794,524	1,704,894
受取手形及び売掛金	371,811	418,186
有価証券	49,447	54,733
商品及び製品	38,483	54,407
仕掛品	12,765	9,553
原材料及び貯蔵品	22,387	31,770
その他	39,885	43,019
貸倒引当金	△38	△42
流動資産合計	2,329,267	2,316,523
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	200,826	195,724
土地	414,820	414,820
その他（純額）	40,329	40,059
有形固定資産合計	655,976	650,603
無形固定資産	29,091	27,792
投資その他の資産	483,821	484,513
固定資産合計	1,168,890	1,162,909
資産合計	3,498,157	3,479,432
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,359	139,864
短期借入金	340,000	340,000
未払法人税等	7,889	2,161
賞与引当金	30,720	15,782
独占禁止法関連損失引当金	46,000	8,031
その他	184,630	170,215
流動負債合計	749,599	676,055
固定負債		
退職給付引当金	51,195	51,042
役員退職慰労引当金	27,656	29,127
その他	123,594	115,174
固定負債合計	202,446	195,344
負債合計	952,045	871,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,748,931	1,748,931
利益剰余金	782,766	843,456
自己株式	△105,338	△105,338
株主資本合計	2,526,359	2,587,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,752	20,983
評価・換算差額等合計	19,752	20,983
純資産合計	2,546,111	2,608,032
負債純資産合計	3,498,157	3,479,432

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	725,165	672,212
売上原価	471,369	442,424
売上総利益	253,795	229,788
販売費及び一般管理費	177,745	173,253
営業利益	76,050	56,534
営業外収益		
受取利息	359	911
受取配当金	1,757	1,945
作業くず売却益	158	153
保険解約返戻金	-	2,293
その他	808	1,900
営業外収益合計	3,082	7,205
営業外費用		
支払利息	2,010	1,532
その他	256	229
営業外費用合計	2,266	1,762
経常利益	76,866	61,977
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,088
特別利益合計	-	16,088
特別損失		
固定資産除却損	0	1,022
特別損失合計	0	1,022
税引前四半期純利益	76,866	77,043
法人税、住民税及び事業税	2,161	2,161
法人税等合計	2,161	2,161
四半期純利益	74,704	74,881

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準等の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	425,480	299,684	725,165	—	725,165
外部顧客への売上高	425,480	299,684	725,165	—	725,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	425,480	299,684	725,165	—	725,165
セグメント利益	28,036	122,318	150,354	△74,304	76,050

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	372,118	300,094	672,212	—	672,212
外部顧客への売上高	372,118	300,094	672,212	—	672,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	372,118	300,094	672,212	—	672,212
セグメント利益	61,030	70,413	131,444	△74,909	56,534

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。